

平成 28 年度 春期
システム監査技術者試験
午後 II 問題

試験時間	14:30 ~ 16:30 (2 時間)
------	----------------------

注意事項

1. 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問 1, 問 2
選択方法	1 問選択

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
 - (1) B 又は HB の黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
 - (2) 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入してください。
正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入してください。
 - (3) 選択した問題については、次の例に従って、選択欄の問題番号を○印で囲んでください。○印がない場合は、採点されません。2 問とも○印で囲んだ場合は、はじめの 1 問について採点します。

〔問 2 を選択した場合の例〕

選択欄	問 1	問 2
	1 問選択	

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。
こちら側から裏返して、必ず読んでください。

“あなたが携わったシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の概要”

の記入方法

あなたの所属部門と、あなたが担当した主なシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の概要について記入してください。

質問項目①，③～⑪は，記入項目の中から該当する番号又は記号を○印で囲むとともに，（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は，該当するものを全て○印で囲んでください。

質問項目②は，あなたが担当した主なシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の名称を記入してください。

問1 情報システム投資の管理に関する監査について

近年、企業などにおいては、厳しい競争環境の中で、情報システムの新規導入、大規模改修などに対する投資を、その優先度に応じて絞り込むことが必要になってきている。情報システム投資の優先度は、情報システム投資に係る事業戦略の重要度、費用対効果、必要な人員、利用可能な情報技術の状況など様々な観点から評価して決定することが重要である。

一方で、情報システム投資の内容や優先度の決定が適切であっても、必ずしも当初の目的・期待効果を達成できるわけではない。例えば、情報システムの運用開始後に顧客ニーズ、競争環境、技術環境などが変化し、当初の目的・期待効果を達成できなかつたり、達成していた期待効果を維持できなくなつたりすることがある。したがって、情報システムの運用段階においても、情報システム投資の目的・期待効果の達成状況、内外の環境変化などを継続的にモニタリングし、必要な対応策を実施することができるように、情報システム投資の管理を行うことが重要である。

システム監査人は、情報システム投資の決定が適切に行われているかどうか、また、情報システムの運用段階において、目的・期待効果を達成及び維持するための情報システム投資の管理が適切に行われているかどうかを確かめることが必要である。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった組織における情報システム投資の決定の体制及び手続の概要、並びに当該体制及び手続に基づいて決定された情報システム投資の一つについてその目的・期待効果を含めた概要を、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた情報システム投資について、その決定が適切に行われているかどうかを確認する監査手続を、700字以上1,400字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問アで述べた情報システム投資について、情報システムの運用段階において、その目的・期待効果の達成又は維持が損なわれるリスク、及び当該リスクへの対応策を実施できるようにするための情報システム投資の管理が適切に行われているかどうかを確認する監査手続を、700字以上1,400字以内で具体的に述べよ。

問2 情報システムの設計・開発段階における品質管理に関する監査について

情報技術の進展に伴い、企業などでは、戦略的な新規サービスの提供、業務の効率向上などに情報システムを積極的に利活用している。また、情報システムはネットワーク化されており、不具合が発生するとその影響は組織内にとどまらず、取引先、さらには国民生活にまで及ぶおそれがある。したがって、本番稼働前の設計・開発段階において、業務の要件を満たしているか、プログラムに誤りはないかなど、品質が十分に確保されているかどうかを監査しておくことが重要である。

情報システムに求められる品質は、関係するサービス又は業務の要件によって、その内容及びレベルは異なってくる。一方で、品質は、設計・開発段階における各工程を通じて、順次、組み込まれていくものである。したがって、設計・開発段階における情報システムの監査において、品質の確保状況を評価するには、一つの工程を対象とするだけでは不十分である。また、システム監査人が、設計書、テスト報告書などの内容を精査して、品質の確保状況を直接、評価することも難しい。

これらの点を踏まえて、システム監査人は、設計・開発段階における品質管理に関わる体制、プロセスなどが適切かどうかを確かめることで、求められる品質が確保されているかどうかを評価する必要がある。さらに、レビュー、テストなどの実施において、品質が確保されているかどうかを測る客観的な指標が設定され、評価されていることを確かめることも有効である。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが関係する情報システムの概要と、当該情報システムにおいて重要と考えられる品質の内容、及びその品質が確保されない場合のサービス又は業務への影響について、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた品質について、設計・開発段階で品質が確保されなくなる要因、及び品質を確保するために必要なコントロールを、700字以上1,400字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べたコントロールを踏まえて、設計・開発段階における品質管理の適切性を確認する監査手続について、監査証拠及び確認すべきポイントを含め、700字以上1,400字以内で具体的に述べよ。

[メモ用紙]

[メモ用紙]

[メモ用紙]

6. 解答に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合は、評価を下げる場合があります。

(1) **問題文の趣旨に沿って解答してください。**

(2) 解答欄は、“あなたが携わったシステム監査、システム利用又はシステム開発・運用業務の概要”と“本文”に分かれています。“あなたが携わったシステム監査、システム利用又はシステム開発・運用業務の概要”は、2ページの記入方法に従って、全項目について記入してください。

(3) “本文”は、設問ごとに次の解答字数に従って、それぞれ指定された解答欄に記述してください。

・設問ア：800字以内

・設問イ：**700字以上** 1,400字以内

・設問ウ：**700字以上** 1,400字以内

(4) 解答は、丁寧な字ではっきりと書いてください。

7. 退室可能時間に途中で退室する場合には、手を挙げて監督員に合図し、答案用紙が回収されてから静かに退室してください。

退室可能時間

15:10 ~ 16:20

8. **問題に関する質問にはお答えできません。** 文意どおり解釈してください。

9. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。

10. 試験時間中、机の上に置けるものは、次のものに限りません。

なお、会場での貸出しは行っていません。

受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB）、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

これら以外は机の上に置けません。使用もできません。

11. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。

12. 答案用紙は、いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は、採点されません。

13. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。なお、試験問題では、TM 及び [®] を明記していません。

©2016 独立行政法人情報処理推進機構